

活動の場所

埼玉県入間郡三芳町、所沢市、川越市、狭山市にまたがる落葉広葉樹の里山（雑木林）



活動目的

子どもも大人も心地よい自然にふれあえる体験型環境教育フィールドの提供

活動内容

荒廃した里山の保全再生

2003年から石坂産業株式会社（当社）の再資源化工場周辺の里山の保全再生を行っています。かつては管理されなくなったために木が密生して薄暗く、ゴミが不法投棄されるような状態でしたが、下刈りや徐間伐など手入れすることで今では林床まで光が入り、子どもも大人も心地よく散策できる里山となっています。

伐採更新による里山の循環

2011年からは伐採更新により生物多様性の向上を図っています。（公財）日本生態系協会が生物多様性の保全への貢献度を評価・認証するJHEP認証で、伐採更新を含む一部エリアの管理計画は2012年に最高ランクの“AAA”を取得しました。

地域伝統の落葉掻きを環境教育へ

くぬぎの森は2017年に日本農業遺産に認定された「武蔵野の落ち葉堆肥農法」と縁の深い三富地域にあります。三富は江戸時代に開拓され、落葉を集め堆肥として畑に入れる循環型農業が営まれてきました。くぬぎの森では、地域の歴史文化、伝統の大切さと落葉掻きなどの手入れで維持される生物多様性の大切さを伝える体験型環境教育を行っています。



PRしたいポイント

- 環境省や埼玉県のレッドリストのうちくぬぎの森では26種が確認されています。毎年、個体数調査と保護活動を行っています。
- 2022年7月に生物多様性の保全への貢献を評価するJHEP認証の2回目の更新認証を受け、AAAを維持しています。

活動効果、今後の展開 等

- 保全当初と比べ、雑木林に特徴的なキンラン（環境省絶滅危惧Ⅱ類）やクチナングサ（埼玉県準絶滅危惧）などが数百個体増加しています。
- 5年ごとに新たな区画を更新伐採し、林齢の異なる林がモザイク状に成立することで、より多様な環境が生まれ生物多様性が向上する里山を目指します。2022年12月には3回目の伐採を行います。